

## 日本産有剣膜翅類検索表

### ハナダカバチ科 (Bembicinae) の検索表

寺山 守

ハナダカバチ亜科は、世界に 1,400 種以上が記載されており、日本ではツヤアナバチ族 *Alyssontini*、ハナダカバチ族 *Bembicini*、ドロバチモドキ族 *Nyssonini* の 3 族が見られる。ツヤアナバチ族に 2 属 5 種が、ドロバチモドキ族に 2 族 4 種が認められる。ハナダカバチ族は、さらにハナダカバチ亜族 *Bembicina*、トゲアワフキバチ亜族 *Exeirina*、アワフキバチ亜族 *Gorytina*、スナハキバチ亜族 *Stizina* の 4 亜族に区分され、それらの中に 8 属 20 種が含まれる。

本亜科の種は、中形のサイズのものが多く、中胸盾板の後側縁付近から中胸盾板後側角に向かう隆起線があり、中脚には通常 2 本の脛節刺をもつ。また、腹部第 1 節の腹板前方の中央部には、縦走する溝があることで他科の種と容易に区別される。

本亜科の種は、半翅目のヨコバイ、アワフキムシやツノゼミ等、双翅目のハエやアブ等を狩る。

属までの検索は「科、亜科および属の検索表」を参照されたい。本検索表中の各種の分布は国内に限定したもので、下記の記号で生息地域を示した。

北：北海道，本：本州，四：四国，九：九州，佐：佐渡島，対：対馬，種：種子島，屋：屋久島，琉：琉球列島（奄：トカラ・奄美諸島，沖：沖縄諸島，宮：宮古諸島，八：八重山諸島），伊：伊豆諸島，小：小笠原群島。

#### ツヤアナバチ族 *Alyssontini*

本邦では、腹部が有柄のツヤアナバチ属 *Alysson* と、無柄のツヤアナバチモドキ属 *Didinei* が見られる。

#### ツヤアナバチ属 *Alysson*

体長 5-10mm 程の小形の種が多い。腹部は有柄。前翅は大きい縁紋を持ち、中肘脈 (M+Cu 脈) は長く伸び、より先端の部分で中脈 (M 脈) と接続する。日本では 4 種が記録されている。

## ツヤアナバチ属 *Alysson* の種検索

- 1a. 前伸腹節背板の中央基方面は三角形の領域となり、後端は背板の後縁に達する(図 1-1, 1-2).  
..... 2
- 1aa. 前伸腹節背板の中央基方面は半楕円形となり、後端は背板の後縁に達しない(図 1-3, 1-4).  
..... 3
- 2a. 脚は黒色から黒褐色の部分が多い.
- 2b. 前伸腹節背板の中央基方面は正三角形をなす.  
..... ハクサンツヤアナバチ *Alysson japonicus* Tsuneki, 1977 本
- 2aa. 脚は黄色から黄褐色.
- 2bb. 前伸腹節背板の中央基方面は鋭角三角形をなす.  
..... ニッコウツヤアナバチ *Alysson monticola* Tsuneki, 1977 北, 本, 九
- 3a. メスの前伸腹節の大半と腹部第 1 節は黄赤色.
- 3b. オスの触角柄節上面は暗褐色で下面は黄色で、触角間に黄色紋はない.  
..... ムネアカツヤアナバチ *Alysson pertheesi* Gorski, 1852 本
- 3aa. メスの前伸腹節と腹部第 1 節は黒色.
- 3bb. オスの触角柄節の大部分は黄色で、触角間に黄色紋をもつ.  
..... ニッポンツヤアナバチ *Alysson cameroni* Yasumatsu et Masuda, 1933 北, 本, 九

## ツヤアナバチモドキ属 *Didineis*

前翅は大きい縁紋を持ち、中肘脈(M+Cu 脈)はツヤアナバチ属より短く、より基方で中脈(M 脈)と接続する。ナンブツヤアナバチモドキ *Didineis sibirica* 1 種のみを産する。

## ドロバチモドキ族 *Nyssonini*

腹部が有柄のドロバチモドキ属 *Nysson* と無柄のヤマトドロバチモドキ属 *Nippononysson* が見られる。また、ヤマトドロバチモドキ属では前翅の亜縁室は 2 個となる(ドロバチモドキ属では 3 個)。

## ドロバチモドキ属 *Nysson*

前翅の縁紋が小さいことで、他の 3 属と区別される。近年、アカオビドロバチモドキ *Nysson maculosus* が利尻島から得られた(久松・長瀬, 2004) ことから、日本には 3 種が生息することになる。

## ドロバチモドキ属 *Nysson* の種検索

- 1a. 盾板に黄紋をもつ.
- 1b. メスの腹部第1節は赤褐色.
  - ... アカオビドロバチモドキ *Nysson maculosus* (Gmelin, 1790) 北 (利尻島)
- 1aa. 盾板に黄紋を欠く.
- 1bb. メスの腹部第1節は黒色で1対の黄色紋をもつ.
  - ..... 2
- 2a. 後翅でん室は肘脈基部の前方で終わる.
- 2b. メスの頭盾前縁にはにぶい2歯をそなえる (図 1-5).
- 2c. オスの頭盾前縁は幅広く突出し, 先端は直線状となる.
  - ..... オオドロバチモドキ *Nysson spinosus* (Förster, 1771) 北, 本, 九
- 2aa. 後翅でん室は肘脈基部よりも後方へ達する.
- 2bb. メスの頭盾前縁は鈍三角形に突出し, 中央ににぶい1歯をそなえる (図 1-6).
- 2cc. オスの頭盾前縁は鈍三角形に突出し, 中央に1歯をそなえる.
  - ... ヒメドロバチモドキ *Nysson trimaculatus* (Rossi, 1790) 北, 本, 四, 九, 対

## ヤマトドロバチモドキ属 *Nippononysson*

前翅の亜縁室は2個であることから他属と容易に区別される。また、腹部は第1節と第2節が赤褐色で第3節以降は黒色の特徴的な色彩をしている。ヤマトドロバチモドキ *Nippononysson rufopictus* 1種のみを産する。

## ハナダカバチ族 *Bembicini*

### アワフキバチ亜族 *Gorytina*

第2亜縁室(SMC2)は第1, 第3亜縁室の間に位置することでドロバチモドキ亜科と区別される。4属に9種が見られるが、アワフキバチ属の種数が多く6種が知られ、他は1属に1種のみが認められる。アワフキムシやツノゼミ類を主に狩る。各種の狩りの獲物については高橋(2006b)にまとめられている。

### アワフキバチ属 *Gorytes*

後翅の逆走脈(m-cu)は中肘脈(M+Cu)のより先方部に接続する。前翅に黒斑はない。腹部第1節の背面は盛り上がりせず、側方から見て弱く弧をえがく程度。腹部第2節は明瞭に膨大しない。あるいはやや膨大する場合、腹部に黄褐色の軟毛を豊富にそなえることはない。

アワフキバチ属 *Gorytes* の種検索

- 1a. メス：触角は12節からなり，可視腹節は6節。  
 ..... 2
- 1aa. オス：触角は13節からなり，可視腹節は7節。  
 ..... 7
- [メス]
- 2a. 腹部第3節以降は大部分が黄色。  
 2b. 脚の大部分は黄色。  
 2c. 前伸腹節に黄色の1対の大斑をもつ。  
 ..... ババアワフキバチ *Gorytes ishigakiensis* Tsuneki, 1982 八
- 2aa. 腹部第3節以降は大部分が黒色で，背板後縁に黄帯が見られる程度。  
 2bb. 脚の大部分が黄色とはならない。  
 2cc. 前伸腹節に黄色の1大斑はない。  
 ..... 3
- 3a. 頭部を正面から見て，複眼内縁は直線で，かつ両眼内縁線間の距離は下方に向かうにつれてゆるやかに狭まる（図1-9）。  
 ..... 4
- 3aa. 頭部を正面から見て，複眼内縁は弧を描き，かつ両眼内縁線間の距離は下方へ向かうほど幅が明瞭に狭くなる（図1-10）。  
 ..... 5
- 4a. 腹部第1背板に2黄紋（不明瞭になる場合がある），第2，第3節に黄帯をもつ。  
 4b. 中胸背の点刻は比較的粗大。  
 ... ミスジアワフキバチ *Gorytes tricinctus* (Pérez, 1905) 北，本，四
- 4aa. 腹部第1から第5背板に黄帯をもつ。  
 4bb. 中胸背の点刻は細かく，散在する。  
 .... コウライアワフキバチ *Gorytes koreanus* Handlirsch, 1888 北
- 5a. 尾域の点刻は密で縦に連なり条刻状となる。  
 5b. 触角上面の前半は黄褐色。  
 5c. 腹部第1から第5節に黄帯をもつ。  
 .... ナミアワフキバチ *Gorytes maculicornis* (Morawitz, 1889) 北，本
- 5aa. 尾域の点刻は疎で散在する。  
 5bb. 触角上面は黒色。  
 5cc. 腹部第1から第3節，あるいは第4節に黄帯をもつ。  
 ..... 6
- 6a. 腹部第1節から第3節に黄帯をもつ。

- 6b. 中胸背に比較的大きく浅い点刻をもつ.
- 6c. 触角下面は黄色.  
 ..... アイヌアワフキバチ *Gorytes aino* Tsuneki, 1963 北, 本
- 6aa. 腹部第1節から第4節に黄帯をもつ.
- 6bb. 中胸背はさめはだ状で, 点刻をもたない.
- 6cc. 触角下面は褐色または黒褐色.  
 ..... ハクトウアワフキバチ *Gorytes neglectus* Handlirsch, 1895 北  
 [オス]
- 7a. 頭盾の基本色は黒.  
 ..... 8
- 7aa. 頭盾は黄色.  
 ..... 9
- 8a. 中胸背に粗大点刻をもつ.
- 8b. 触角第3節から第8節の下面に稜条がある.  
 ..... ミスジアワフキバチ *Gorytes tricinctus* (Pérez, 1905) 北, 本, 四
- 8aa. 中胸背に粗大点刻はない.
- 8bb. 触角第3節から第10節の下面に稜条がある.  
 ..... アイヌアワフキバチ *Gorytes aino* Tsuneki, 1963 北, 本
- 9a. 腹部第3節以降は大部分が黄色.
- 9b. 脚の大部分は黄色.
- 9c. 前伸腹節に黄色の1対の大斑をもつ.  
 ..... ババアワフキバチ *Gorytes ishigakiensis* Tsuneki, 1982 八
- 9aa. 腹部第3節以降は主に黒色.
- 9bb. 脚の大部分は黒色から黒褐色で, 一部が黄色となる.
- 9cc. 前伸腹節に黄色の1大斑はない.  
 ..... 10
- 10a. 触角の下面は黄褐色ないし黒褐色.  
 ... ナミアワフキバチ *Gorytes maculicornis* (Morawitz, 1889) 北, 本
- 10aa. 触角の下面は黒色.  
 ..... 11
- 11a. 腹部第1背板に2黄紋, 第2, 第3背板に黄帯をもつ.
- 11b. 中胸背は微少点刻のみをもつ.  
 ..... ハクトウアワフキバチ *Gorytes neglectus* Handlirsch, 1895 北
- 11aa. 腹部には4, あるいは5本の黄帯をもつ.
- 11bb. 中胸背には中程度の点刻と微少点刻の2種の点刻が見られる.  
 ..... コウライアワフキバチ *Gorytes koreanus* Handlirsch, 1888 北

### カワラアワフキバチ属 *Harpactus*

前翅は透明で、先端付近に黒斑はなく、後翅の逆走脈(m-cu)は中肘脈(M+Cu)のより基方に接続する。腹部第1節の背面は強く盛り上がらず、側方から見て弱く弧をえがく程度。

カワラアワフキバチ *Harpactus tumidus* 1種のみが生息する。

### コイケアワフキバチ属 *Egorytes*

後翅の逆走脈(m-cu)は中肘脈(M+Cu)のより先方部に接続する。背方から見て腹部第1節に対して第2節は急に膨大し、かつ腹部は黄褐色の軟毛を豊富にそなえることで容易に区別される。

コイケアワフキバチ *Egorytes fulvohirtus* 1種のみが生息する。

### フタモンアワフキバチ属 *Lestiphorus*

前翅の先端付近に黒斑をもつことと、腹部第1節の背面は側方から見て山形となることで他種との区別は容易である。

フタモンアワフキバチ *Lestiphorus bilunulatus* 1種のみが生息する。

### トゲアワフキバチ亜族 *Exeirina*

日本では、トゲアワフキバチ属1属のみが見られる。

### トゲアワフキバチ属 *Argogorytes*

日本では2種が見られる。腹部第2背板側面に明瞭な横溝があることで本族の他属と容易に区別される。

#### トゲアワフキバチ属 *Argogorytes* の種検索

- 1a. メスの尾域は三角形で、褐色の剛毛で被われる(図 1-7).
- 1b. メスの盾板は黒色.
- 1c. オスの頭頂に微細点刻がある.
- 1d. オスの前伸腹節の後背縁に横走する隆起線はない.

．オオトゲアワフキバチ *Argogorytes mystaceus* (Linnaeus, 1761) 北, 本, 四, 九

- 1aa. メスの尾域は細舌状で、剛毛をもたない(図 1-8).
- 1bb. メスの盾板は黄斑がある.
- 1cc. オスの頭頂は平滑で点刻を欠く.
- 1dd. オスの前伸腹節の後背縁に横走する隆起線がある.

.... ニッポントゲアワフキバチ *Argogorytes nipponis* Tsuneki, 1963 北, 本, 四,

### スナハキバチ亜族 *Stizina*

大形のハナダカバチモドキ属と中形のスナハキバチ属からなる。前翅縁紋は小さく、第2亜縁室(SMC2)は第1, 第3亜縁室の間に位置する。ハナダカバチ属に体形は似るが、上唇は伸長せず、前単眼は通常の楕円型となる。

### ハナダカバチモドキ属 *Stizus*

体長が15mm以上の大形の種。中胸側板上方に溝で囲まれた区画がある。また、前伸腹節後面はくぼまない。

キアシハナダカバチモドキ *Stizus pulcherrimus* 1種のみが北海道から九州にかけて生息する。

### スナハキバチ属 *Bembecinus*

体長11mm以下の中形の種。中胸側板に溝で囲まれた区画はない。また、前伸腹節後面は多少ともくぼむ。

日本からは5種が記録されている。

### スナハキバチ属 *Bembecinus* の種検索

1a. 中胸背に2対の黄色の縦帯がある。

1b. 腹部第2背板から第4背板はほぼ全域が黄色(図6-8)。

.....ナンブスナハキバチ *Bembecinus nambui* Tsuneki, 1973 奄(与論島)

1aa. 中胸背に黄斑はない。

1bb. 腹部第2背板から第4背板には黒色部の方が多い。

.....2

2a. 頭盾は大部分が黄色。

2b. 前翅第2肘室は三角形であることが多く、上方が広く空くことはない(図6-2, 6-3)。

2c. 腹部に黄斑をもつ。

.....ヤマトスナハキバチ *Bembecinus hungaricus* (Fivaldsky, 1876) 北,

本, 四, 九, 屋, 奄, 沖

2aa. 頭盾は大部分が黒色。

2bb. 前翅第2肘室は上方が広く空き, 台形となる(図6-1)。

2cc. 腹部に黄斑をもつ。

.....3

2aaa. 頭盾は黒色で, 個体によっては縁部が黄色となる。

2bbb. 前翅第2肘室は三角形.

2ccc. 腹部は黒色で、黄斑はない(図6-7).

..オガサワラスナハキバチ *Bembecinus anthracinus* (Handlirsch, 1892) 小

3a. 腹部第1背板に黄斑がある(図6-4, 6-5, 6-9, 6-10).

....リュウキュウスナハキバチ *Bembecinus bimaculatus* (Matsumura et Uchida, 1926) 沖, 八

3aa. 腹部第1背板に黄斑がない.

.....タノスナハキバチ *Bembecinus tanoi* Tsuneki, 1971 八

### ハナダカバチ亜族 *Bembicin*

本亜族の種は、体長10mm以上の大形の種がほとんどで、砂中に営巣し、半翅目や双翅目を狩って子の餌としている。

日本にはハナダカバチ属 *Bembix* の3種が生息しており、小笠原諸島にクロハナダカバチ *B. fumida* が、八重山諸島にタイワンハナダカバチ *B. formosana* が、屋久島以北の本土にはニッポンハナダカバチ *B. niponica* が生息する。上唇はきわめて長く胸部下面に達する。また、前単眼は変型し、まが玉状の形となる。

### ハナダカバチ属 *Bembix* の種検索

1a. 体の基本色は黒で、上唇や頭盾等の一部分のみに黄色部を持つ。

..... *Bembix fumida* Parker, 1929 クロハナダカバチ 小

1aa. 体の基本色は黄色から黄緑色(図7-1, 7-2).

..... 2

2a. 体長20mm以上.

2b. オスの触角末端節は幅広く、下方がえぐられる。

..... ニッポンハナダカバチ *Bembix niponica* F. Smith, 1873 北, 本, 四, 九, 屋

2aa. 体長18mm以下.

2bb. オスの触角末端節は細長く下方はえぐられない。

..... タイワンハナダカバチ *Bembix formosana* Bischoff, 1913 八

### 種の概説

ニッポンツヤアナバチ *Alysson cameroni* Yasumatsu et Masuda, 1933 [図1-3, 2-5, 2-6]

体長6-10mm. 体は黒色で、頭盾、両眼内縁線付近、触角柄節は黄色。触角鞭節は黒褐色。脚は



黒から黒褐色で、一部に黄色味をもつ部分がある。盾板に黄色の2紋を、そして、腹部第2節に黄色の大きな2紋をもつ。

分布：北海道，本州，九州。

ハクサンツヤアナバチ *Alysson japonicus* Tsuneki, 1977 [図 1-1, 1-10, 1-11]

体長 6-9mm. 体は黒色。頭盾，大アゴ，両眼内縁付近は黄色。触角柄節は黄色で鞭節は暗褐色。腹部第2節に黄色の2斑紋をもつ。脚は黒褐色で一部黄色味を帯びる部分がある。

分布：本州。

ニッコウツヤアナバチ *Alysson monticola* Tsuneki, 1977 [図 1-2, 1-7~1-9]

体長 5-7mm. 黒色の種で，頭盾や大アゴ，両眼内縁線付近は黄色。触角鞭節の上面は褐色，下面は黄褐色。胸部に黄紋を幾つかそなえる。腹部第2節に黄色の2紋をもつ。メスの脚は褐色，オスでは黄褐色。

北海道，本州，九州に原名亜種 *A. m. monticola* Tsuneki, 1977 が生息し，さらに北海道に別に亜種 *A. m. ezoensis* Tsuneki, 1977 が記録されている。*ezoensis* は原名亜種に比べて前胸と中胸の黄紋が小さいことで区別される。

分布：北海道，本州，九州。

ムネアカツヤアナバチ *Alysson pertheesi* Gorski, 1852 [図 1-4, 2-1~2-4]

体長 5-7mm. 体色は黒色で，メスの前伸腹節は黄赤色で，基部中央の三角部のみが黒色となるものが多い。腹部第1節は黄赤褐色，第2節に一对の黄紋をもつ。脚は赤褐色。個体によって，前伸腹節全体が黒色となる場合や腹部第1節が黒色となる場合がある。オスの前伸腹節は黒色で，第2節に一对の黄紋をもつ。第1節は赤色味を帯びる場合がある。脚は褐色で，黄色の部分が見られる。オス，メスともに腹部の黄色紋が消失する個体が見られる。

砂地に直径 2mm ほどの入口をもつ巣を作る。巣は深さ 10cm 以上となり，3-4mm ほどのヨコバイ科，ヒロズヨコバイ科，ホシヨコバイ科の種を餌として狩る，

分布：本州；朝鮮半島，ユーラシア。

ナンブツヤアナバチモドキ *Didineis sibirica* Gussakovskij, 1937 [図 3-1, 3-2]

体長 7-8mm. 体は黒色で，大アゴは褐色。メスの触角，脚は黒色。オスの触角，脚は黒褐色。

分布：本州；シベリア，ウスリー。

ヤマトドロバチモドキ *Nippononysson rufopictus* Yasumatsu et Maidl, 1936 [図 2-12]

体長 7-8mm. 頭部，胸部は黒色。腹部第1節と第2節は赤褐色，第3節以降は黒色。触角と脚は黒褐色。一見ハナバチ類に見える。

分布：北海道，本州，四国，九州，対馬。

オオドロバチモドキ *Nysson spinosus* (Förster, 1771) [図 1-5, 2-3, 2-4]

体長 9-12mm. 黒色. 前胸背に黄帯をもち，腹部第 1 節から 3 節には 1 対ずつの黄紋あるいは黄帯がある. 後翅臀室は肘脈基部の少し手前で終わる. メスの頭盾前縁は中央ににぶい 2 歯があり，オスでは前縁が幅広く突出し，先端は直切状となる.

日本産の個体群は亜種 *N. s. malaisei* Gussakovskij, 1933 とされる.

分布：北海道，本州，九州；ウスリー.

ヒメドロバチモドキ *Nysson trimaculatus* (Rossi, 1790) [図 1-6, 2-5]

体長 6-8mm で前種より小形. 黒色. 前胸背には数個の黄紋，あるいは 1 個の黄帯をもつが，完全に消失する個体もある. 腹部第 1 節から 3 節には 1 対ずつの黄紋がある. 後翅臀室は肘脈基部より少し後方に達する. 頭盾前縁は中央ににぶい 1 歯をそなえる.

日本産の個体群は亜種 *N. t. japonicus* Tsuneki, 1964 とされる.

分布：北海道，本州，四国，九州，対馬.

アカオビドロバチモドキ *Nysson maculosus* (Gmelin, 1790)

体長 6-8mm. 頭部，胸部は黒色で，前胸背，盾板に黄紋をもつ. メスの腹部第 1 節は赤褐色で，腹部第 1 節から 3 節には 1 対ずつの黄紋がある. 脚腿節は黒色で，脛節は赤褐色味を帯びる. オスの触角第 12 節は著しく肥大し，第 13 節（末端節）は強く彎曲する.

久松・長瀬(2004)に本種の写真が掲載されている.

分布：北海道（利尻島）；朝鮮半島，中国，ユーラシア.

オオトゲアワフキバチ（オオアワフキバチ）*Argogorytes mystaceus* (Linnaeus, 1761) [図 1-7, 5-3]

体長 12-17mm. 黒色. 前胸背板に黄帯をもち，腹部第 1 節に 1 対の黄紋がある. また，腹部第 2 節と第 3 節の後縁に黄色の横帯がある. メスの尾域は三角形で先端はやや円く，褐色剛毛で被われる. オスの頭頂部は微細な点刻でおおわれる.

日本産のものは亜種 *A. m. grandis* (Gussakovskij, 1933) とされる.

分布：北海道，本州，四国，九州；朝鮮半島，中国，サハリン，ウスリー.

ニッポントゲアワフキバチ（ニッポンアワフキバチ）*Argogorytes nipponis* Tsuneki, 1963 [図 1-8, 5-1, 5-2]

体長 10-13mm. 色彩はオオトゲアワフキバチに類似するが，サイズはやや小形. 前胸背板に黄帯をもつ. メスの盾板は黄色，尾域は細舌状で無毛. オスの頭頂部は点刻を欠き光沢をもつ.

朽ち木中に巣を作り、アワフキムシの幼虫を子の餌として狩る。1 巣に複数の育房を作り、餌は 1 室に 9 から 17 頭を貯える(南部, 1983)。

分布：北海道, 本州, 四国, 九州, 対馬。

アイヌアワフキバチ *Gorytes aino* Tsuneki, 1963 [図 4-6]

体長 10-13mm. 黒色。腹部第 1 節から第 3 節のそれぞれに黄帯をもち、触角上面は黒褐色で下面は黄色。中胸背板は微少点刻をもち、さらに比較的浅く大きな点刻が疎に見られる。メスの頭盾は黄色、オスでは黒色。

クロアワフキと成虫とアオズキンヨコバイ属の 1 種の幼虫を狩る記録がある(高橋, 2006b)。

分布：北海道, 本州。

ナミアワフキバチ *Gorytes maculicornis* (Morawitz, 1889) [図 4-7]

体長 11-13mm. 体は黒色。触角第 7, あるいは 8 節以降の節は黄色。それより基方の節では上面が黒褐色, 下面が黄色。腹部は細長く, 第 1 節から第 5 節の各節に黄帯をもつ。オスの頭盾は黄色で, 前胸背板に黄帯をもつ。

分布：北海道, 本州; 朝鮮半島, 中国, 東アジア, ウスリー。

ハクトウアワフキバチ *Gorytes neglectus* Handlirsch, 1895 [図 1-10, 4-5]

体長 11-13mm. 体は黒色で, 頭盾は黄色。触角上面は黒色, 下面は褐色から黒褐色。中胸背板はさめはだ状を呈し, 大きな点刻はない。腹部第 1 節から第 4 節のそれぞれに黄帯をもつ。

ヤマトキタヨコバイとキタヨコバイを狩ることが知られている。

分布：北海道; 朝鮮半島, サハリン, ユーラシア。

ババアワフキバチ *Gorytes ishigakiensis* Tsuneki, 1982

体長 9-13mm. 体に黄色部分が多く, 他種との区別は容易である。胸部の大部分は黄色で, 前伸腹節に黄色の 1 対の大斑をもつ。腹部も黄色部が多い。脚の大部分は黄色で, 基節と腿節の一部が黒褐色となる。

日本では琉球列島の石垣島と西表島からのみ得られている。山根他(1999)に写真が掲載されている。台湾ではウンカ科のシダスケバモドキを狩る(高橋, 2006b)。

分布：八重山; 台湾。

コウライアワフキバチ *Gorytes koreanus* Handlirsch, 1888 [図 4-3, 4-4]

体長 9-13mm. 黒色。頭盾は黄色。前胸背板に黄帯をもつ。中胸背板には小点刻を密に分布する。腹部第 1 節から第 5 節に黄帯がある。触角上面は黒色, 下面は黄色。

アワフキムシ科の昆虫を狩る。

分布：北海道；朝鮮半島，東アジア，ウスリー。

ミスジアワフキバチ *Gorytes tricinctus* (Pérez, 1905) [図 1-9, 4-1, 4-2]

体長 10-14mm. 黒色. メスの頭盾は黄色，オスでは黒色. 前胸背板は黒色. 中胸背板の点刻はやや粗大. 腹部第 1 節に 1 対の黄紋があるがしばしば消失する. 第 2 節，第 3 節にはそれぞれ黄帯をもち，特に第 2 節のものは太く顕著.

土中に巣を作り，モンキアワフキやハマベアワフキの成虫を狩り，1 巣に 1 育房が多い. 1 室に 4 から 10 頭を貯える(上田，1975；常木，1982，1987；高橋，2006b).

分布：北海道，本州，四国；朝鮮半島.

カワラアワフキバチ *Harpactus tumidus* (Panzer, 1801)

体長 5-7mm. 頭部，胸部は黒色で，腹部第 1，2 節は赤色. 第 3 節以降は黒色となる. 頭部と腹部に白斑がある. 前翅は透明で，先端近くに黒斑はない.

日本の個体群は亜種 *H. j. japonensis* Tsuneki, 1963 とされ，アワフキムシ科の幼虫を狩る. 標本写真が Tsuneki (1963) にある.

分布：本州；中国，ユーラシア.

コイケアワフキバチ *Eogorytes fulvohirtus* (Tsuneki, 1963) [図 5-6]

体長 8-10mm. 腹部第 2 節は第 1 節よりも膨大し，節間で角をなす. 黒色で体に黄褐色毛を多く生やす. 前胸背板と盾板に橙色帯を持つ. 腹部第 1 節後方に細い橙色帯を，腹部第 2 節後方に幅広い橙色帯を持つ.

モンキアワフキを狩る.

分布：本州，九州，対馬；朝鮮半島，中国.

フタモンアワフキバチ *Lestiphorus bilunulatus* Costa, 1869 [図 5-4, 5-5]

体長 10-14mm. 黒色で，腹部第 1 節は柄状となり細く，第 2 節に黄色の 2 紋をもつ. 触角も糸状で細長い. 前翅の先端近くに黒斑がある. 後翅臀室は肘脈基部の前方で終わる.

餌としてヒメシロオビアワフキ及びマダラアワフキが記録されている(高橋，2006b). 日本産のものには亜種 *L. b. yamatonis* Tsuneki, 1963 が与えられている.

分布：北海道，本州，四国；朝鮮半島，ウスリー，ユーラシア.

キアシハナダカバチモドキ *Stizus pulcherrimus* (F. Smith, 1856) [図 7-3, 7-4]

体長 17-22mm の大形の種. 頭部は黒色，両複眼内縁線付近に淡黄斑を持つ. 頭盾は黒色で，前方部は黄色. 胸部は黒色で，前胸背板は黄色帯をもつ. 腹部第 1 節から第 5 節に黄白色から白色の 2 紋をもつ. 後方の紋はつながり帯状となる場合もある. 脚は赤褐色.

分布：北海道，本州，四国，九州；朝鮮半島，中国，モンゴル。

オガサワラスナハキバチ *Bembecinus anthracinus* (Handlirsch, 1892) [図 6-7, 7-7]

体長 8-10mm. 頭盾は黒色であるが，聳島の個体群では縁部が黄色となるものが見られる。前翅第 2 肘室は三角形となる。腹部は黒色で黄斑を持たない（第 1 節に一对小さな黄斑を持つ個体が見られる）。

小笠原諸島に生息し，父島，母島の個体群を亜種 *B. a. ogasawaraensis* Tsuneki, 1970 とし，聳島のものを亜種 *B. a. mukodzimaensis* Tsuneki, 1970 としている。亜種 *ogasawaraensis* は，頭盾前縁に細い黄帯をもち，褐色部の多い脚をもつものに対して，亜種 *mukodzimaensis* は頭盾前縁に太い黄帯をもち，黄色部の多い脚を持っている。

*Bembecinus anthracinus mukodzimaensis* Tsuneki, 1970 オガサワラスナハキバチ聳島亜種・ムコジマスナハキバチ 小（聳島）

*Bembecinus anthracinus ogasawaraensis* Tsuneki, 1970 オガサワラスナハキバチ父島母島亜種・オガサワラスナハキバチ 小（父島，母島）

分布：小笠原；ニューギニア，チモール。

リュウキュウスナハキバチ *Bembecinus bimaculatus* (Matsumura et Uchida, 1926) [図 6-1, 6-4, 6-5, 6-9, 6-10, 7-6]

体長 8-12mm. 頭盾は黒色部が多く，メスの一部の個体で黄色部の目立つ個体がある。前翅第 2 肘室は上方がやや広く空き，よって四辺形となる。腹部第 1 節から第 5 節に黄斑があるが，個体変異が大きく，第 3 節から第 5 節で黄斑が消失するものが見られ，特に第 3 節の黄斑が消失するものが多い。斑紋の個体変異については Tsuneki (1967, 1970) に詳しい。

分布：琉球（沖縄，八重山）。

ヤマトスナハキバチ *Bembecinus hungaricus* (Frivaldsky, 1876) [図 6-2, 6-3, 6-6, 7-5]

体長 8-12mm. 頭盾は大部分が黄色。前翅第 2 肘室は三角形で，上方広く空くことはない。腹部第 1 節から第 4 節あるいは第 5 節のそれぞれの後縁に黄帯あるいは黄斑がある。

北海道から屋久島までの個体群に亜種 *B. h. japonicus* (Sonan, 1934) の名が，奄美，沖縄の個体群に亜種 *B. h. amamiensis* Tsuneki, 1965 の名が与えられている。

分布：北海道，本州，四国，九州，屋久島，奄美，沖縄；ユーラシア。

ナンプスナハキバチ *Bembecinus nambui* Tsuneki, 1973 [図 6-8]

体長 9mm. 特徴的な色彩によって他種との区別は容易である。頭部と胸部は黒色で淡黄色の斑紋をもつ。頭盾は黄色。中胸背に 2 対の縦帯があり、外側の 1 対は内側のものよりも太く、側縁部にある。腹部第 1 節は基方中央に黒色部があり他は黄色。腹部第 2 節から第 4 節の背板はほぼ全面が黄色となる。第 5 節は基半が黒色で残りの部分は黄色、第 6、7 節は黒色。

これまでのところ、与論島から得られたオスのみが知られている。

分布：奄美諸島（与論島）。

タノスナハキバチ *Bembecinus tanoi* Tsuneki, 1971

体長 6.5mm. 頭盾は大部分が黒色。前翅第 2 肘室は上方がやや広く空き、よって台形状となる。リュウキュウスナハキバチに類似するが、小形で、腹部第 1 背板は全て黒色で、黄斑がない。第 2 節には 1 対の黄斑をもつ。

西表島から得られ、メスのみが知られる。

分布：八重山（西表島）。

ニッポンハナダカバチ *Bembix niponica* Smith, 1873 [図 7-1]

体長 20-23mm. 頭頂部は黒色で、頭盾と上唇の大部分は黄白色。触角柄節は上面が黒色、下面は黄色、鞭節は主に褐色から黒褐色。胸部は黒色で、前胸背板、中胸背板、小盾板、前伸腹節の後方に黄白色帯がある。腹部は黒色と黄白色のまだら模様となる。脚は主に黄色で、一部に黒色部がある。

砂浜や河川の砂地に営巣するが、牧場のような開けた環境にも見られる。ハエやアブの成虫を狩り、随時給餌を行う。

日本産の個体群は屋久島以北に分布し、原名亜種 *B. n. nipponica* Smith, 1873 とされ、大陸のものとは別亜種とされる。

分布：北海道、本州、四国、九州、屋久島；朝鮮半島、中国、台湾、モンゴル。

タイワンハナダカバチ *Bembix formosana* Bischoff, 1913 [図 7-2]

体長 13-18mm. ニッポンハナダカバチに似るが、体サイズが小さく、斑紋は黄色味が強くなる。またオスの触角末端節が細長く、下方に突起を欠くことで区別される。

日本では多良間諸島と八重山諸島から得られており、海岸の砂地に見られる。

分布：琉球劣等（多良間諸島、八重山諸島）；台湾。

クロハナダカバチ *Bembix fumida* Parker, 1929

体長 15mm 程度。体が黒色であることで他種との区別は容易である。上唇、頭盾に汚黄色の小斑がある。

分布：小笠原.

日本産ハナダカバチ亜科の種目録

Family Crabronidae ギングチバチ科

Subfamily Bembicinae ハナダカバチ亜科

Tribe Alyssontini ツヤアナバチ族

*Alysson cameroni* Yasumatsu et Masuda, 1933 ニッポンツヤアナバチ 北, 本, 九

*Alysson japonicus* Tsuneki, 1977 ハクサンツヤアナバチ 本

*Alysson monticola* Tsuneki, 1977 ニッコウツヤアナバチ

*Alysson monticola monticola* Tsuneki, 1977 ニッコウツヤアナバチ本土亜種・ニッコウツヤアナバチ 北, 本, 九

*Alysson monticola ezoensis* Tsuneki, 1977 ニッコウツヤアナバチ北海道亜種・エゾツヤアナバチ 北

*Alysson pertheesi* Gorski, 1852 ムネアカツヤアナバチ 本; 朝, ユーラシア

*Didineis sibirica* Gussakovskij, 1937 ナンブツヤアナバチモドキ 本; シベリア, ウスリー

Tribe Nyssonini ドロバチモドキ族

*Nippononysson rufopictus* Yasumatsu et Maidl, 1936 ヤマトドロバチモドキ 北, 本, 四, 九, 対

*Nysson spinosus* (Förster, 1771) オオドロバチモドキ

*Nysson spinosus malaisei* Gussakovskij, 1933 オオドロバチモドキ本土亜種・オオドロバチモドキ 北, 本, 九; ウスリー

*Nysson trimaculatus* (Rossi, 1790) ヒメドロバチモドキ

*Nysson trimaculatus japonicus* Tsuneki, 1964 ヒメドロバチモドキ本土亜種・ヒメドロバチモドキ 北, 本, 四, 九, 対

*Nysson maculosus* (Gmelin, 1790) アカオビドロバチモドキ 北 (利尻島); 朝, 中, ユーラシア

Tribe Bembicini ハナダカバチ族

Subtribe Exeirina トゲアワフキバチ亜族

*Argogorytes mystaceus* (Linnaeus, 1761) オオトゲアワフキバチ (オオアワフキバチ)

*Argogorytes mystaceus grandis* (Gussakovskij, 1933) オオトゲアワフキ

バチ本土亜種・オオトゲアワフキバチ (オオアワフキバチ) 北, 本, 四,  
九; 朝, 中, サハリン, ウスリー  
*Argogorytes nipponis* Tsuneki, 1963 ニッポントゲアワフキバチ (ニッポンアワフキバチ)  
北, 本, 四, 九, 対

#### Subtribe Gorytina アワフキバチ亜族

*Harpactus tumidus* (Panzer, 1801) カワラアワフキバチ  
*Harpactus tumidus tumidus* (Panzer, 1801) カワラアワフキバチ本州亜種・  
カワラアワフキバチ 本  
*Eogorytes fulvohirtus* (Tsuneki, 1963) コイケアワフキバチ 本, 九, 対; 朝, 中  
*Gorytes aino* Tsuneki, 1963 アイヌアワフキバチ 北, 本  
*Gorytes maculicornis* (Morawitz, 1889) ナミアワフキバチ 北, 本; 朝, 中, 東アジア,  
ウスリー  
*Gorytes neglectus* Handlirsch, 1895 ハクトウアワフキバチ 北; 朝, サハリン, ユーラ  
シア  
*Gorytes ishigakiensis* Tsuneki, 1982 ババアワフキバチ 八; 台  
*Gorytes koreanus* Handlirsch, 1888 コウライアワフキバチ 北; 朝, 東アジア, ウスリー  
*Gorytes tricinctus* (Pérez, 1905) ミスジアワフキバチ 北, 本, 四; 朝  
*Lestiphorus bilunulatus* Costa, 1869 フタモンアワフキバチ  
*Lestiphorus bilunulatus yamatonis* Tsuneki, 1963 フタモンアワフキバチ  
本土亜種・フタモンアワフキバチ 北, 本, 四; 朝, ウスリー

#### Subtribe Stizina スナハキバチ亜族

*Bembecinus anthracinus* (Handlirsch, 1892) オガサワラスナハキバチ  
*Bembecinus anthracinus mukodzimaensis* Tsuneki, 1970 オガサワラスナハ  
キバチ聟島亜種・ムコジマスナハキバチ 小 (聟島)  
*Bembecinus anthracinus ogasawaraensis* Tsuneki, 1970 オガサワラスナハ  
キバチ父島母島亜種・オガサワラスナハキバチ 小 (父島, 母島)  
*Bembecinus bimaculatus* (Matsumura et Uchida, 1926) リュウキュウスナハキバチ 沖,  
八  
*Bembecinus hungaricus* (Frivaldsky, 1876) ヤマトスナハキバチ  
*Bembecinus hungaricus amamiensis* Tsuneki, 1965 ヤマトスナハキバチ奄  
美沖縄亜種・アマミスナハキバチ 奄, 沖  
*Bembecinus hungaricus japonicus* (Sonan, 1934) ヤマトスナハキバチ本土  
亜種・ヤマトスナハキバチ 北, 本, 四, 九, 屋  
*Bembecinus nambui* Tsuneki, 1973 ナンプスナハキバチ 奄 (与論島)



*Bembecinus tanoi* Tsuneki, 1971 タノスナハキバチ 八 (西表島)  
*Stizus pulcherrimus* (F. Smith, 1856) キアシハナダカバチモドキ 北, 四, 九; 朝, 中,  
モンゴル

Subtribe *Bembicina* ハナダカバチ亜族

*Bembix formosana* Bischoff, 1913 タイワンハナダカバチ 八; 台  
*Bembix fumida* Parker, 1929 クロハナダカバチ 小  
*Bembix niponica* F. Smith, 1873 ニッポンハナダカバチ  
*Bembix niponica niponica* F. Smith, 1873 ニッポンハナダカバチ本土  
亜種 北, 本, 四, 九, 屋

参考文献

- Alexander, B. A., 1992. An exploratory analysis of cladistic relationship within the superfamily Apoidea with species references to Sphecidae wasps (Hymenoptera). *Jour. Hym. Res.*, 1: 25-61.
- 久松正樹・長瀬博彦, 2004. 利尻島におけるハチ類の採集記録. *利尻研究*, 23: 5-8.
- 伊丹英雄, 1967. ムネアカツヤバチ *Alysson pertheesi* Gorski の生態. *生物研究* (福井), 11: 4-5.
- 南部敏明, 1983. ニッポンアワフキバチの習性. *蜂友通信*, 15: 1-10.
- 高橋秀男, 2006a. ドロバチモドキ科の知見. *つねきばち*, 7: 22.
- 高橋秀男, 2006b. アワフキバチの獲物. *つねきばち*, 9: 4-6.
- 寺山 守, 2004. 日本産有剣膜翅類検索表 1. アナバチ型ハチ類 (ミツバチ上科) の科及び属の検索. *つねきばち*, 3: 1-22.
- Tsuneki, K., 1963. The tribe Gorytini of Japan and Korea (Hymenoptera). *Etizenia* 1: 1-20.
- Tsuneki, K., 1964. On some aculeate Hymenoptera of Japan. *Etizenia*, 6: 1-7.
- Tsuneki, K., 1967. Sphecoidea from the Ryukyu and Formosa (Hymenoptera). *Kontyu*, 35: 382-390.
- Tsuneki, K., 1968. Studies on the Formosan Sphecidae (IV). The subfamily Nyssoninae (Hym.), with notes on *Bembecinus* of the Ryukyu and Korea. *Etizenia*, 31: 1-26.
- Tsuneki, K., 1970. Two new subspecies of *Bembecinus anthracinus* (Handlirsch, 1892) from the Ogasawara Islands (Hym., Sphecidae, Nyssoninae). *Etizenia*, 47: 1-7.
- Tsuneki, K., 1971. Studies on the Formosan Sphecidae (XII). A supplement to the subfamily Nyssoninae, with the *Bembecinus*-species of the southern Ryukyus (Hymenoptera). *Etizenia*, 56: 1-15.
- Tsuneki K., 1973. New and the first recorded species and subspecies of Sphecidae and

- Mutillidae from Japan with taxonomic notes on some species (Hymenoptera). *Etizenia*, 65: 1-28.
- Tsuneki, K., 1976. A forth contribution to the knowledge of Sphecidae (Hymenoptera) of Manchuria, with remark on some species of the adjacent regions. *Kontyu*, 44: 288-310.
- Tsuneki, K., 1977. Two new species of the genus *Alysson* Panzer (Hymenoptera, Sphecidae) in Japan. *Kontyu*, 45: 26-32.
- 常木勝次, 1965a. 蜂類研究手引(22) (10)ドロバチモドキ亜科(Nyssoninae), I. 生物研究(福井), 9(1, 2): 24-33.
- 常木勝次, 1965b. 蜂類研究手引(23) (10)ドロバチモドキ亜科(Nyssoninae), II. 生物研究(福井), 9(3, 4): 44-48. [訂正; 蜂友通信, 14: 42. (1982); SPJHA, 22: 1-23 (1982)]
- 常木勝次, 1971. コイケアワフキバチは独立種. 生物研究(福井), 15: 33.
- 常木勝次, 1980. ミスジアワフキバチ観察日記. 蜂友通信, 10: 26-46.
- 常木勝次, 1987. ミスジアワフキバチの再観察. 蜂友通信, 27: 77-89.
- Tsuneki, K., I. (sic.) Itami, 1973. Variation in colour of *Alysson pertheesi* Gorski with notes on the characters. *Life Study (Fukui)*, 17: 13.
- 上田 敏, 1975. ミスジアワフキバチについての観察. 蜂友通信, 1: 2-4.
- 山根正気, 1999. ドロバチモドキ科. 南西諸島産有剣ハチ・アリ類検索図説(山根正気・幾留秀一・寺山 守共著). 北海道大学図書刊行会, 531-537.
- 山根正気・幾留秀一・寺山 守, 1999. 南西諸島産有剣ハチ・アリ類検索図説. 北海道大学図書刊行会, 831 pp., 24 plates.

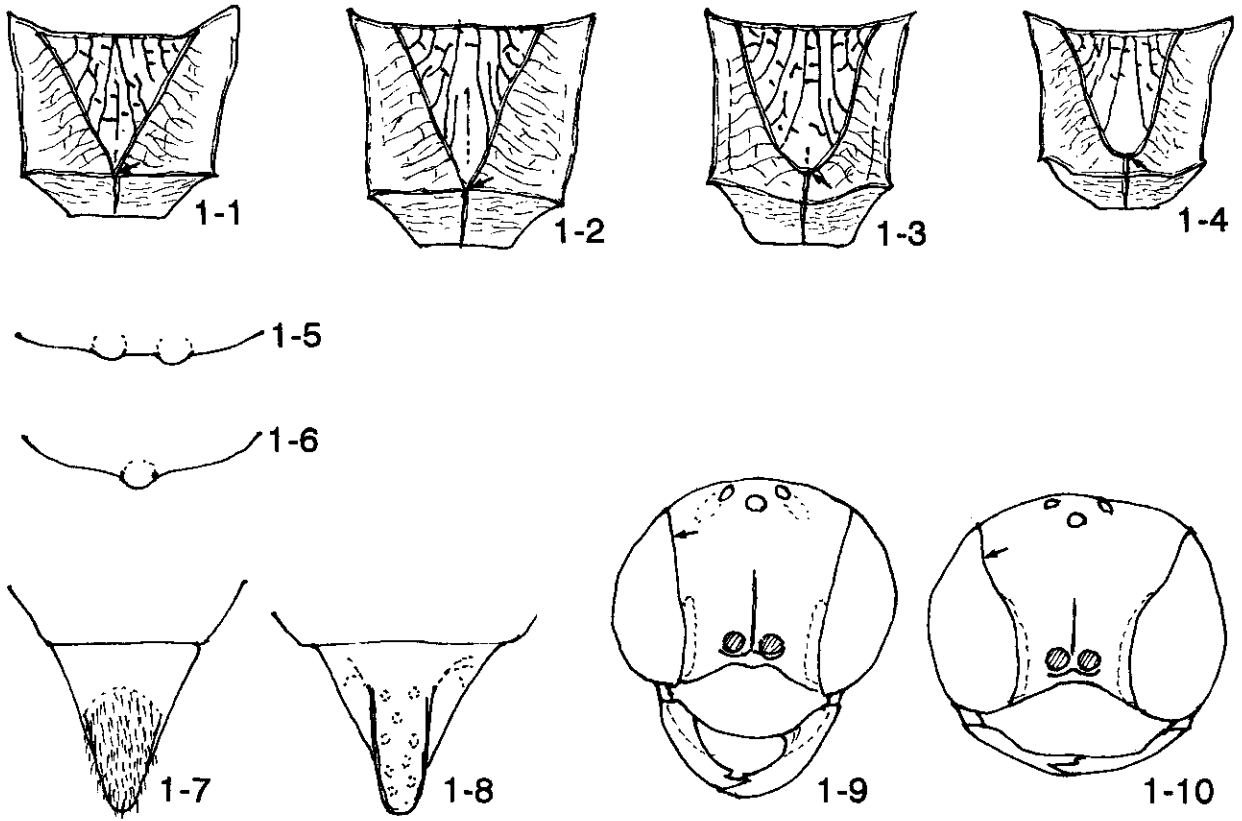


図 1.

1-1, ハクサンツヤアナバチ *Alysson japonicus*, メス ; 1-2, ニッコウツヤアナバチ *Alysson monticola*, メス ; 1-3, ニッポンツヤアナバチ *Alysson cameroni*, メス ; 1-4, ムネアカツヤアナバチ *Alysson pertheesi*, メス ; 1-5, オオドロバチモドキ *Nysson spinosus*, メス ; 1-6, ヒメドロバチモドキ *Nysson trimaculatus*, メス ; 1-7, オオトゲアワフキバチ *Argogorytes mystaceus*, メス ; 1-8, ニッポントゲアワフキバチ *Argogorytes nipponis*, メス ; 1-9, ミスジアワフキバチ *Gorytes tricinctus*, メス ; 1-10, ハクトウアワフキバチ *Gorytes neglectus*, メス.

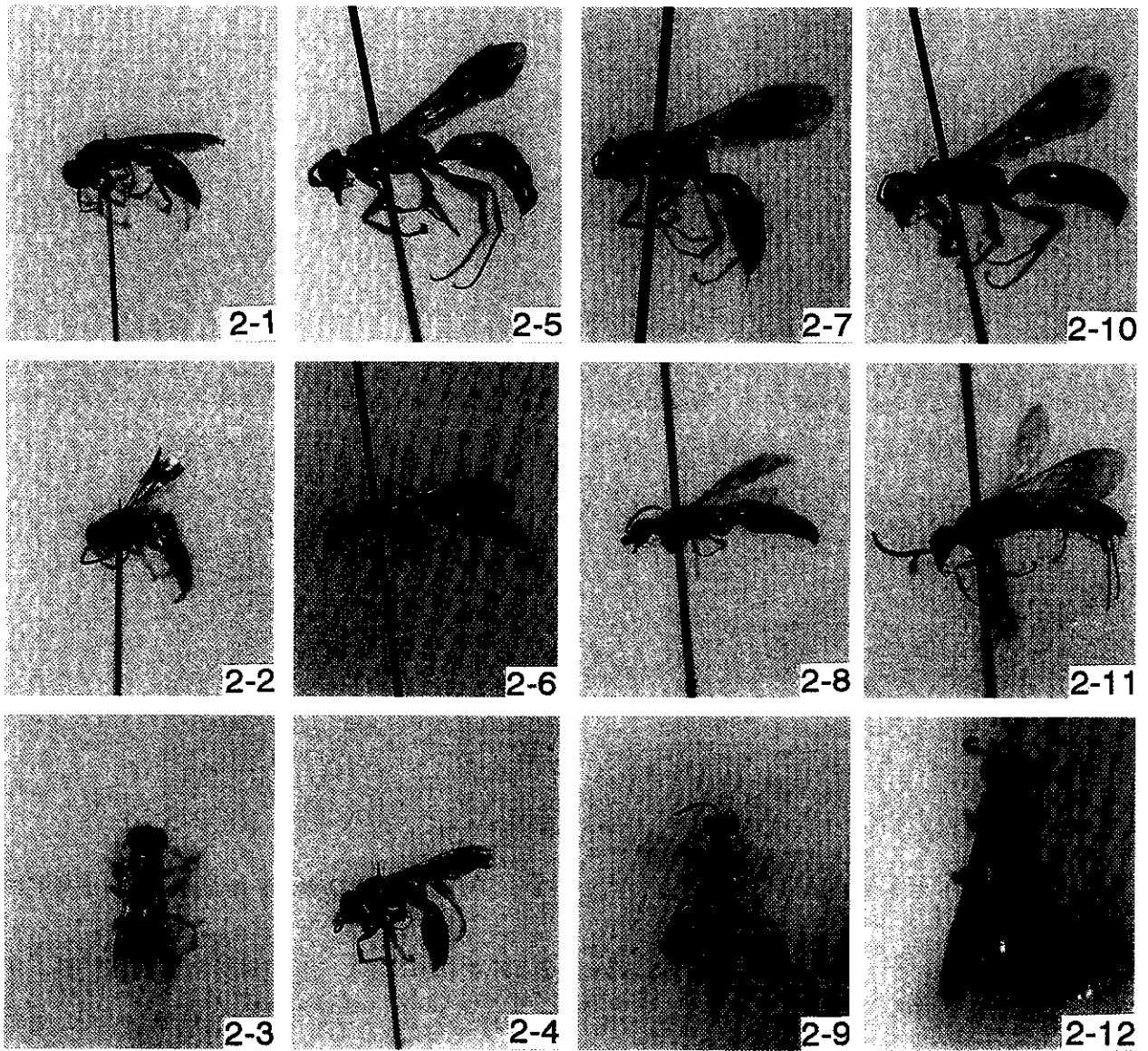


図 2.

2-1~2-4, ムネアカツヤアナバチ *Alysson pertheesi* (2-1, 2-3, 2-4メス ; 2-2オス) ; 2-5, 2-6, ニッポンツヤアナバチ *Alysson cameroni* (2-5メス ; 2-6オス) ; 2-7~2-9, ニッコウツヤアナバチ *Alysson monticola* (2-7メス ; 2-8, 2-9オス) ; 2-10, 2-11, ハクサンツヤアナバチ *Alysson japonicus* (2-10メス ; 2-11オス) ; 2-12, ヤマトドロバチモドキ *Nippononysson rufopictus*, オス.

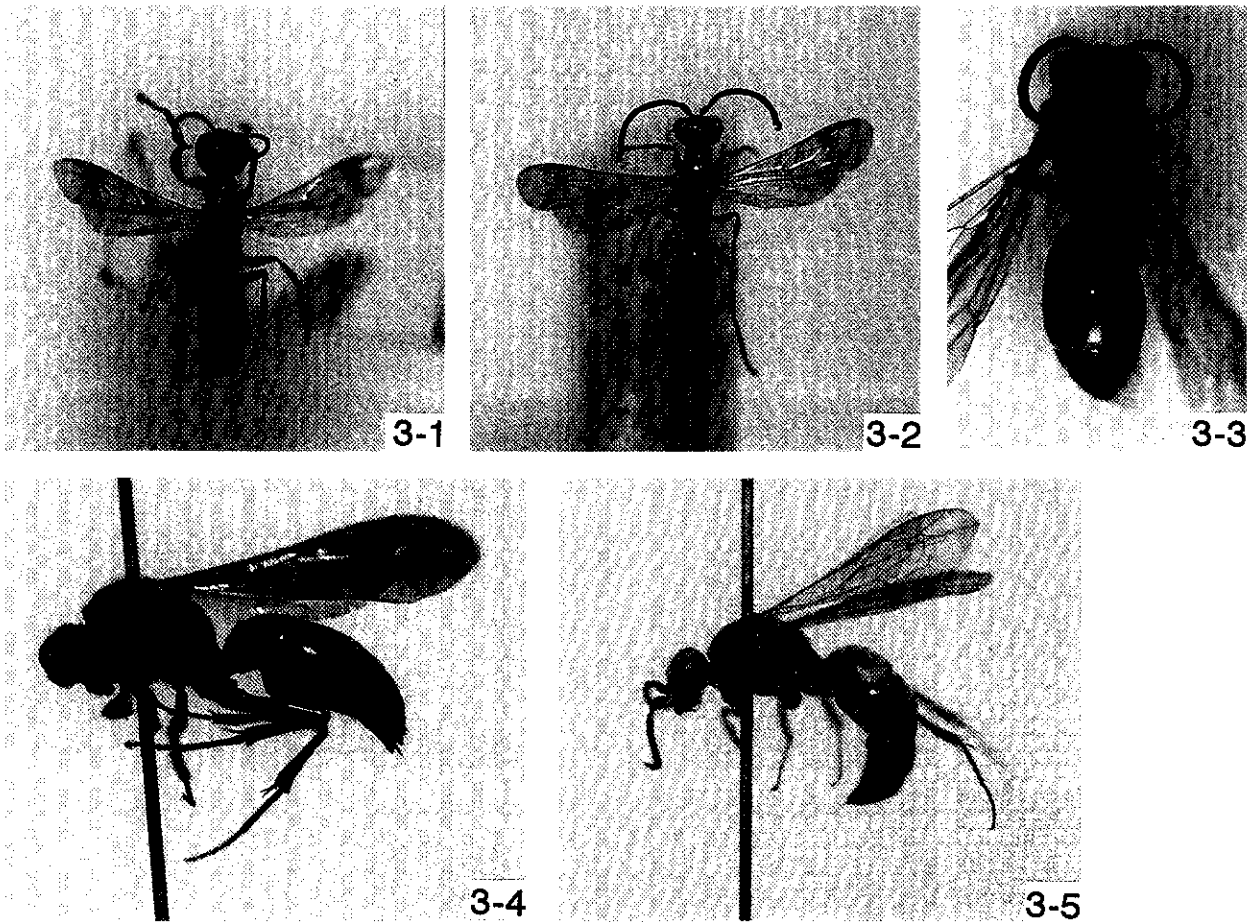


図3. ツヤアナバチモドキ属 *Didineis* およびドロバチモドキ属 *Nysson*.

3-1, 3-2, ナンプツヤアナバチモドキ *Didineis sibirica* (3-1メス ; 3-2オス) ; 3-3, 3-4, オオドロバチモドキ *Nysson spinosus* (3-3メス ; 3-4オス) ; 3-5, ヒメドロバチモドキ *Nysson trimaculatus*, メス.

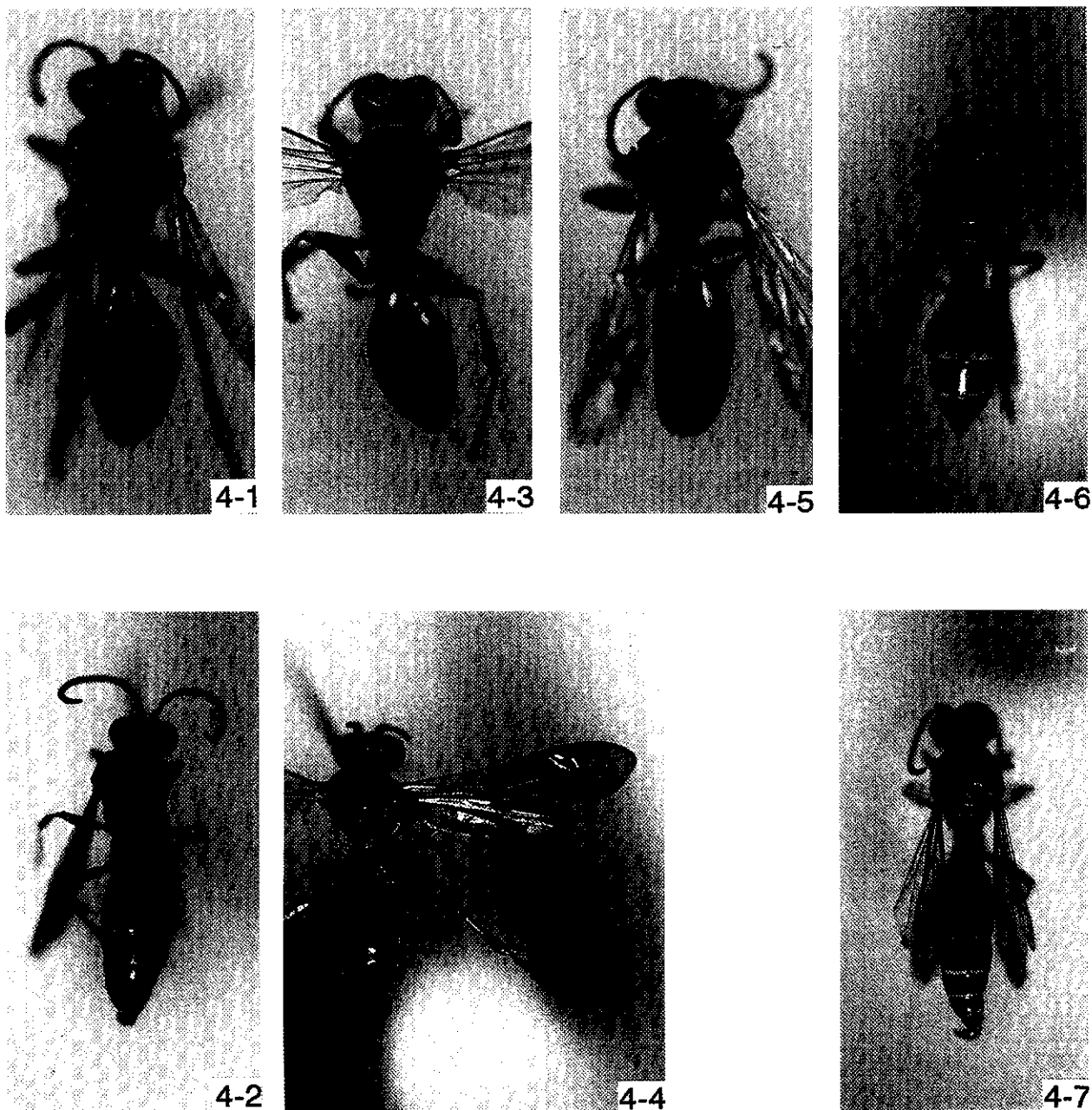
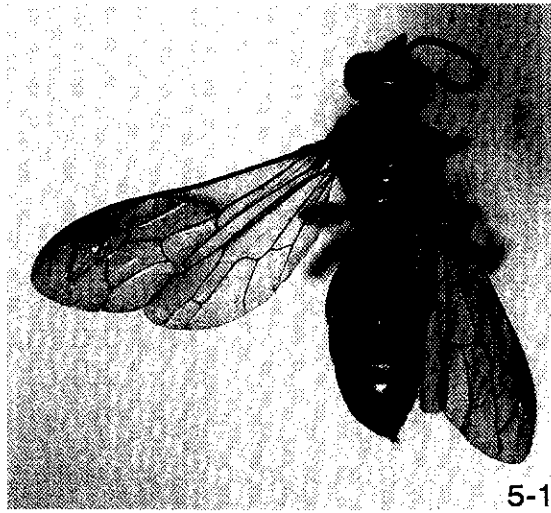
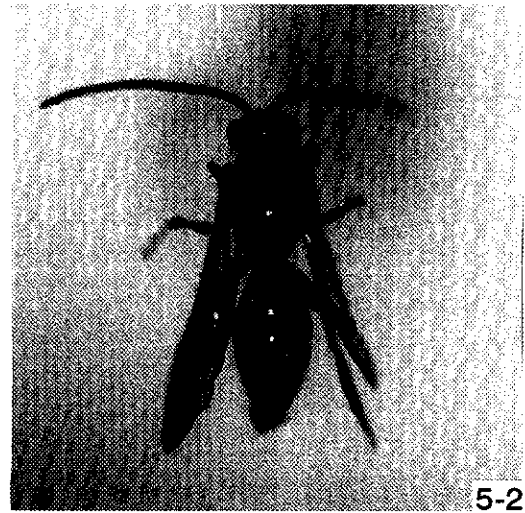


図4. アワフキバチ亜科 Gorytinae (1). アワフキバチ属 *Gorytes*.

4-1, 4-2, ミスジアワフキバチ *Gorytes tricinctus* (4-1メス ; 4-2オス) ; 4-3, 4-4, コウライアワフキバチ *Gorytes koreanus* (4-3メス ; 4-4オス) ; 4-5, ハクトウアワフキバチ *Gorytes neglectus*, メス ; 4-6, アイヌアワフキバチ *Gorytes aino*, メス ; 4-7, ナミアワフキバチ *Gorytes maculicornis*, オス.



5-1



5-2



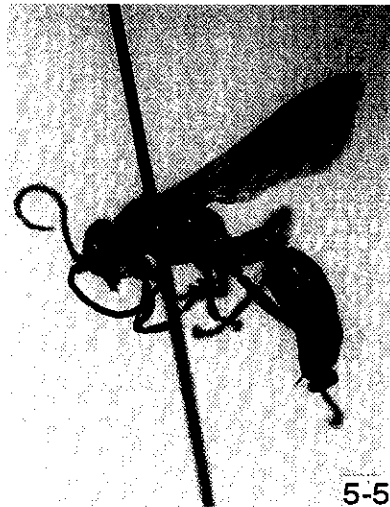
5-3



5-4



5-6



5-5



5-7

図5. トゲアワフキバチ属 *Argogorytes*, フタモンアワフキバチ属 *Lestiphorus*, コイケアワフキバチ属 *Eogorytes*, カワラアワフキバチ属 *Harpactus*.

5-1, 5-2, オオトゲアワフキバチ *Argogorytes mystaceus* (5-1メス; 5-2オス); 5-3, ニッポントゲアワフキバチ *Argogorytes nipponis*, メス; 5-4, 5-5, フタモンアワフキバチ *Lestiphorus bilumulatus*, メス; 5-6, コイケアワフキバチ *Eogorytes fulvohirtus*, メス; 5-7, カワラアワフキバチ *Harpactus tumidus* (メス; 標本写真提供, 田埜 正・室田忠男氏).

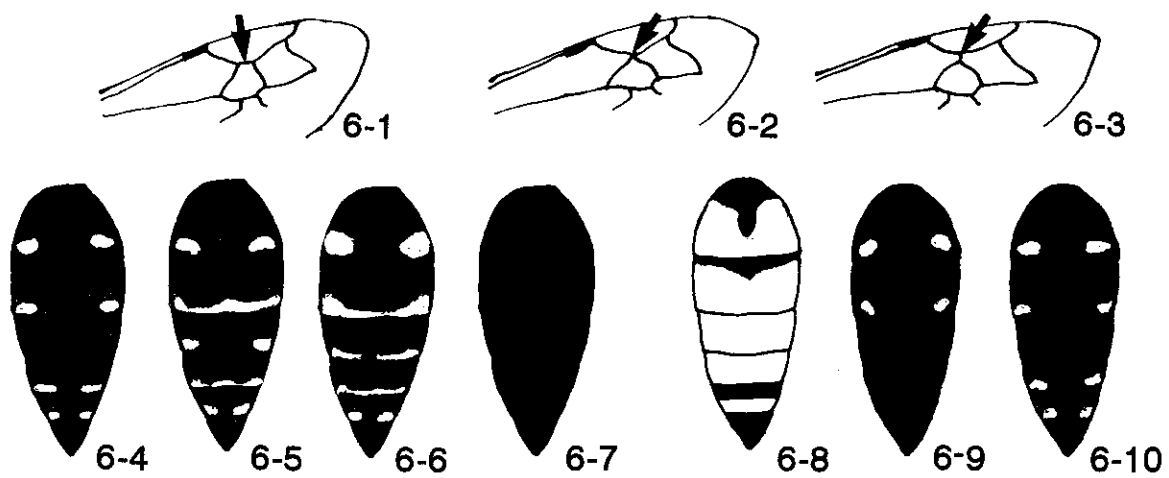


図 6.

スナハキバチ属 *Bembecinus*

6-1, 6-4, 6-5, 6-9, 6-10, リュウキュウスナハキバチ *Bembecinus bimaculatus* (6-4, 6-5メス ; 6-9, 6-10オス) ;  
 6-2, 6-3, 6-6, ヤマトスナハキバチ *Bembecinus hungaricus*, メス ; 6-7, オガサワラスナハキバチ *Bembecinus anthracinus*, メス ; 6-8, ナンプスナハキバチ *Bembecinus nambui* (メス ; Tsuneki, 1973より作成).



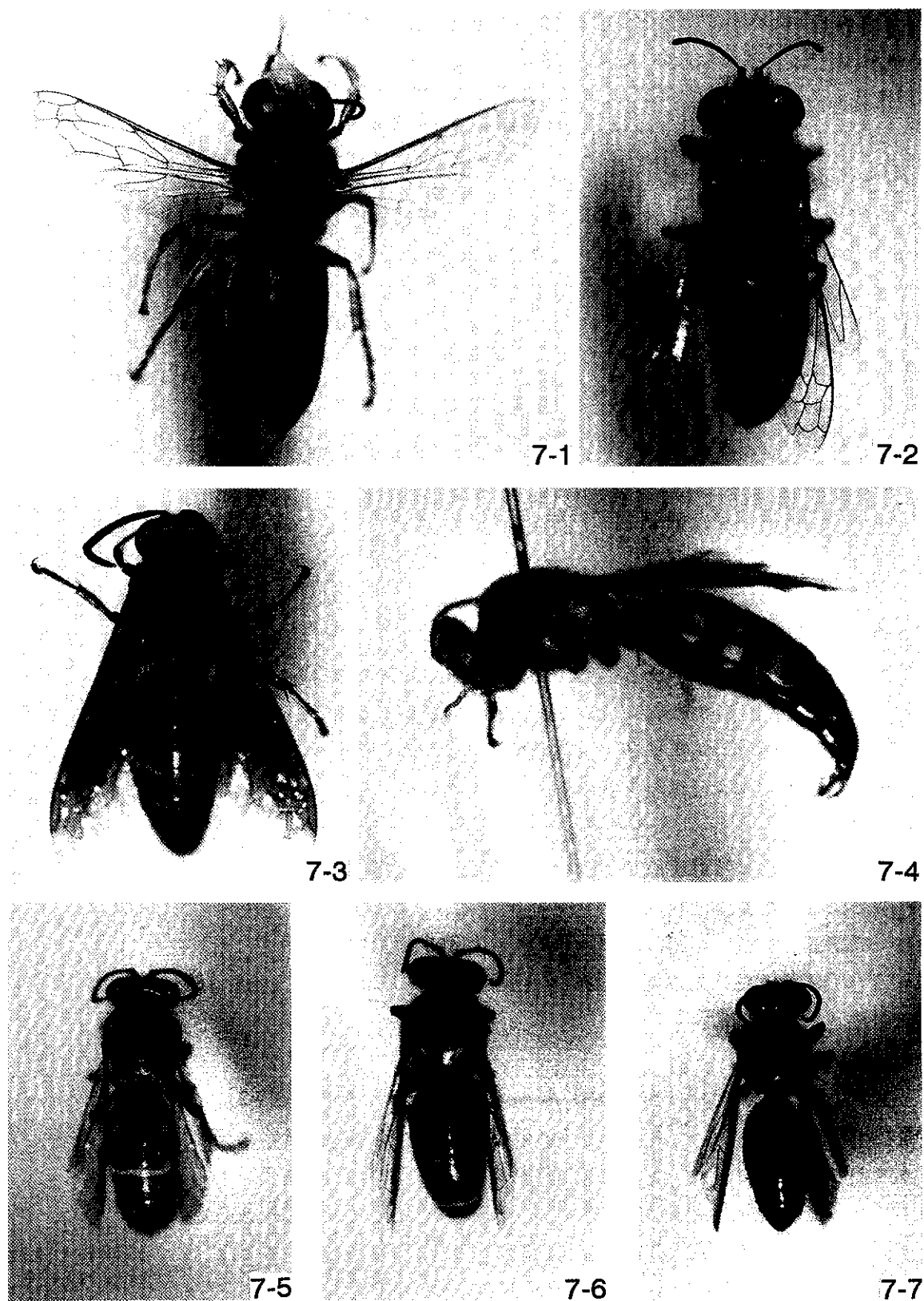


図 7.

7-1, ニッポンハナダカバチ *Bembix niponica*, メス ; 7-2, タイワンハナダカバチ *Bembix formosana*, メス ;  
 7-3, 7-4, キアシハナダカバチモドキ *Stizus pulcherrimus*, オス ; 7-5, ヤマトスナハキバチ *Bembecinus hungaricus*, メス ; 7-6, リュウキュウスナハキバチ *Bembecinus bimaculatus*, メス ; 7-7, オガサワラスナハキバチ *Bembecinus anthracinus*, メス.